

ぼぶれるりる
第5回公演

川にはと
うぜんは
しがある

脚本 竹田モモコ

演出 チャーハン・ラモーン

出演 竹田モモコ
大江雅子
上杉逸平
鄭梨花
窪田道聡

Osaka 2024.2/15~18 Tokio 2/22~25 Kochi 2/29・3/1 Aichi 4/20・4/21

川にはとうぜんはしがある

第5回公演

脚本 竹田モモコ
演出 チャーハン・ラモン
出演 竹田モモコ
大江雅子
上杉逸平(メガネカナウ)
鄭梨花
窪田道聡(劇団5454)

舞台監督 | 久保克司(スタッフステーション)
橋本奈々子
舞台美術 | 柴田隆弘
照明 | 葛西健一
音響 | 河合宣彦(株式会社Road-K)
演出助手 | 鎌江文字
衣装 | 東千紗都(匿名劇壇)
映像撮影・編集 | 武信貴行(U.M.I Film makers)
舞台写真撮影 | 堀川高志(kutowans studio)
イラストとチラシと音楽 | チャーハン・ラモン
制作 | 寺井ゆうこ
安井和恵(クロムモリブデン)
谷口静栄
主催 | 公益財団法人高知市文化振興事業団
協力 |
in→dependent theatre, kutowans studio,
株式会社Road-K, クロムモリブデン, 劇団5454,
スタッフステーション, 鈴木麻友, 匿名劇壇, 突刺金魚,
本田夏実, 南河内万歳一座, メガネカナウ,
U.M.I Film makers

私、あの人のことがなんだかさっぱり分からない。

舞台は古川家の【通り土間】

母屋には古川家の長女

「陽子」の家族が暮らしている。

そこへ次女の「早希」が20年ぶりに帰って来る。

イラストレーターをしている早希は

土間を挟んだ離れで暮らすことになった。

陽子の一人娘「みま」に

何くれとなく世話を焼く早希。

近所に引っ越してきた「生田目」も加わって、

古川家の新しい暮らしが動き出したが

……どうもうまく歯車が回らない。

いったいお母さんは

いつまでお母さんなんだろう？

母屋と離れをつなぐ通り土間で繰り広げられる、

家族の定点観測。



2024. 2. 29 | 木 | 3. 1 | 金 | 高知市文化プラザかるぽーと小ホール

2月29日(木) 19:00 開演

3月1日(金) 19:00 開演

※受付開始は開演の45分前。

開場は開演の30分前。

※未就学児童はご入場いただけません。

【料 金】(全席自由席/税込)

一般前売/3,800円
当日/4,300円

22歳[※]前売/2,500円
当日/3,000円

【会 場】

高知市文化プラザかるぽーと小ホール
(高知市九反田2-1)

【チケット取扱い】

ローソンチケット(Lコード:62062)

チケットぴあ(Pコード:523-786)

高知市文化プラザかるぽーとミュージアムショップ(088-883-5052)

高知県立県民文化ホール(088-824-5321)

高知県立美術館ミュージアムショップ(088-866-7653)



- はりまや橋より徒歩5分
- 高知駅より車で5分
- 高知 I.C.より車で10分
- 高知龍馬空港より車で30分

【お問い合わせ】 公益財団法人高知市文化振興事業団 088-883-5071 <https://www.kfca.jp/kikaku/>

川にはとうぜんはしがある四都市ツアー

大阪 | 2月15日(木)~18日(日)インディペンデントシアター 2nd
東京 | 2月22日(木)~25日(日)こまばアゴラ劇場

高知 | 2月29日(木)、3月1日(金)高知市文化プラザかるぽーと
愛知 | 4月20日(土)、21日(日)メニコンシアター Aoi